

環境大臣賞



漁具の改良やヒラメの稚魚の放流など、環境に優しい取組が評価

▲小型底曳部会の部会長。照丸の船主、小畑輝明さん
「獲るだけじゃない。守り続けることが認められて、感無量」

みなさんの取組が表彰されました！
銚子市漁業協同組合
そこびき
小型底曳部会

底曳船は黄色が目印



川口町2-6528 ☎(22) 3200
8時30分～16時30分
平日のみ



改良した漁具
小型魚を逃がす網

底曳ってなあに？

大きな網を海底まで入れて、船でひきまわし
ヒラメやエビなど海底の魚種を獲る漁法

「僕は底にいるよ」



銚子の魅力を
発信するちょ！



のI♡銚子

第83回

海を守り、未来へつなげる。

小畑輝明 さんの巻

心のコンパスに従うキャプテンに密着ちょ！

銚子の漁師に、俺はなる！

「我慢せず、感情のまま大自然で心から笑える。銚子でしかできない仕事に誇りを持っている」

東京でサラリーマンをしていたが、銚子が大好きで漁師にUターン就職した小畑さん。今は、銚子市漁業協同組合小型底曳部会の部会長で、網も漁師仲間も引っ張っている。趣味は旅行。資源を守る6～8月の禁漁期間には、九州まで車で温泉に行くこともあるほど。

「若い頃は、漁師がやりたくなくて東京に行った。今は、漁師がやりたくて銚子にいる」

海の未来へ面舵一杯

「全国屈指の銚子の漁業。獲って終わりにじゃない。未来につなげて大切な海の宝物を守り続けたい」

海を守る取組

・小型魚などが漁獲される海域の操業自粛

- ・月4日以上のお休みの設定
- ・小型魚の再放流
- ・マダイやヒラメの中間育成と放流
- ・小型魚がかからない網の使用など、漁具の改良
- ・スマート機器の導入
- ・水質観測機やデジタル操業日誌を導入し、生産性向上
- ・小学校で水産教室
- ・（水産業の啓発と魚食普及）

20年以上継続している取組が評価され、環境大臣賞を受賞した。

漁具の改良で小型魚の入網と操業時間は減り、水揚げ金額は増えた。燃油消費量も減って地球にも優しい。小型底曳部会の海男たちは、今日もそこに。

広報ちょうし
令和7年1月号第1276号 令和7年1月1日発行
発行/銚子市 編集/秘書広報室

〒288-8601 銚子市若宮町1-1
☎0479(24) 8181(代表)
URL <https://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちょうしは、読みやすく分かりやすいデザインのため、
【UD(ユニバーサルデザイン)】を使用しています。



人のうごき 令和6年12月1日現在 人口 54,076人(-102人)うち外国人住民人口 2,703人
男 26,461人(-39人) 女 27,615人(-63人) 世帯 26,737世帯(-33世帯)※カッコは前月比
令和6年11月中の人口動態 出生 7人 死亡 89人 転入など 87人 転出など 107人